

このチラシを作成し終わった1/19(木)前後の時期は、「中1・中2学調結果回収」、「各中学定期テスト対策授業」、「英語検定対策」、「公立・私立高校入試対策」などを実施しています。教師・生徒一丸となって「満足の結果を出すために」、「志望校の合格へ向けて」邁進している毎日です。このチラシが入る1/28(土)も昼過ぎから夜10時まで、中1・2・3の各クラスに対して全22コマの授業が組まれており、がんばる塾生に対しての全力サポートが最後の最後まで続きます。

さて、今回のチラシでは毎年の「新年度授業説明会」で生徒・保護者のみなさまから受けるご質問の中から、特にお伝えしておきたい内容を纏めました。このチラシを通じて「他の塾との大きな違い」をご理解いただければ幸いです。

**「校舎ブログ」にて情報発信中！**

(株) 文理学院 執行役員 小倉 勤  
 文理学院中原校責任者 杉山 祐樹

ご質問内容	私たちの回答
<p>大手予備校に通っていましたが、後から後からの追加料金が多くてびっくり。文理の授業料はどうなっていますか？</p> <p><b>授業料・諸費用は明瞭です！</b></p>	<p>説明会やご入塾時の個別説明の場で「毎月かかる費用」と「年間にかかる費用」を明確にお伝えしています。例えば中1・中2ですと4月入塾時は授業料・諸経費・教材費・テスト費を合わせた¥45,070がかかり、来年2月末までお通いいただくと授業料・講習料など全て含み¥278,170がかかります。もちろんテスト対策授業で日曜・祝祭日に授業があっても、授業日以外に自習や質問で塾に通っても「追加料金は一切かかりません」のでご安心下さい。</p>
<p>個別指導塾に通っていますが、あまり成績が伸びません。文理の生徒さんは(チラシを見て)とても伸びているように感じますが、なぜでしょうか？</p> <p><b>「自習室」にて弱点フォロー&amp;質問対応実施中！</b></p>	<p>先日のチラシでも掲載しましたが、確かに目を見張るような成績の伸びを見せる生徒も少なくはありません。例えば、大手予備校通塾時の定期テストで学年順位が100番ほどにいた生徒が、春期講習から文理へ入塾し2ヶ月半経った6月中旬の定期テストで学年順位8位になった生徒もいます。私たちは「集団授業だからこそ伸ばせる」と考えています。スポーツでも仕事や勉強でも同じで「周りのライバルと切磋琢磨し、時には劣等感を感じ、時には優越感に浸りながらよい意味での競争」を繰り返して成長していくのが人間だと思うのです。個別指導やパソコン操作での学習はその生徒のペースで進むため一見よさそうですが、実社会に出てみると自分のペースで物事が進んでいかないことの方が多いです。そのことから「集団での競争が本当の成長を促す」と考えています。*もちろん授業以外での質問対応や弱点フォローは個別に実施します！</p>
<p>大手予備校に通っていますが、国語の授業をあまりやってもらえず伸びません。文理ではどのくらい見てもらえますか？</p> <p><b>公立高校入試は5科目週3日だから5科目完全指導！</b></p>	<p>文理では小学生はもちろん、中学生も通常授業から毎週「国語の授業」を行っています。それができるのも「週3日指導(週9コマ)」のシステムを取っているからです。週2で通塾する塾の場合ですと、週6コマで5科目を指導しているところが多く、例えば理科や社会が週1コマしか授業がないとか、得点アップにおいて即効性が薄い国語はテスト対策授業でお茶を濁すような塾も少なくないのです。しかし、「国語力は全ての科目に通ず」という言葉もありますし、静岡県公立入試の出題傾向(問題文が非常に長い)を考えてみても「国語力の強化」は日常から継続的に行う必要があります。文理では毎週「国語の授業」がありますのでご安心下さい。ちなみに基本的な時間割の組み方は、英語・数学・理科・社会は週2回、国語は週1回と「1週間で9コマの授業を通じて主要5科目をバランスよく勉強」してもらいます！</p>
<p>通信教材をやっていますが成績がいま一步伸びず限界を感じています。</p> <p><b>充実のテスト対策授業3週間前から日曜・祝祭日も対応！</b></p>	<p>「本当の理解は直接のコミュニケーションによってなされる」と考えています。例えば、生徒の質問に対してAという指導を行ったが理解が薄い。その場合、文理の教師はBというアプローチをし、それでも理解が進まなければCという方法で質問に答えていきます。つまり「質問・疑問に対する生徒1人ひとりの理解力は違いますし、伝わることも違う」のです。通信教材の大きな弱点はそこにあります。また、「教材を解き進めることができず溜ってしまう」という声を多く聞きます。やはり教育は「人と人の直接的なコミュニケーション」が基本であると強く感じます。</p>
<p>大手予備校に通っていましたが、一斉授業と大量の宿題が子どもに合わず辞めました。文理でも同じ感じでしょうか？</p> <p><b>体験講座&amp;春期講習(無料)好評受付中！</b></p>	<p>文理は集団授業の形をとっていますので、一斉授業となります。しかし、教えっぱなしになることは決してありません。黒板での解説直後は生徒1人ひとりを見回りながら個別に指導を加えますし、授業前後での質問対応や個別に指導をし直すといったことも日常です。また、宿題の量は決して多くはありません。宿題よりも单元ごとに準備された「单元テスト」を確実にクリアさせていくことに注力しています。宿題を大量に出し、やってきた宿題をざっとチェックしたところで生徒1人ひとりの成績を大きく伸ばすことはできないと考えています。それよりも「自分自身の力(知識や考察力など)で目の前の問題が解けるのか!？」を客観的にチェックしてあげたほうが、確実に学力は伸びていきます。「わかりやすい授業+個別質問対応+单元テストによるチェック」が「学力を上げる文理の指導システム」の根底にあります。</p>

中原校電話設置までは唐瀬校が窓口となります。  
 TEL 248-1007【唐瀬校】担当：小倉、杉山

他には真似できない徹底指導！

